

東洋陶磁学会 2005年(平成17年)度 事業報告

総会

日時 平成17年5月14日(土)午後1時～
会場 根津美術館講堂
記念講演 「唐物茶入を観て」西田宏子

大会(参加者 157名)

日時 平成17年6月18日(土)・19日(日)
会場 愛知県陶磁資料館
テーマ 「十六世紀に栄えた日本の陶磁文化」
主催 愛知県陶磁資料館・東洋陶磁学会
日程

18日(土)午後1時15分～

- ・愛知県陶磁資料館総長挨拶
- ・東洋陶磁学会常任委員長挨拶
- ・基調発表

「桃山陶器の変革と創造」	井上喜久男
「朝鮮時代の陶磁」	片山 まび

- ・記念発表

「桃山期に賞玩された陶磁器」	赤沼 多佳
----------------	-------

- ・基調講演

「中国明時代後期の陶磁とその影響」	森 達也
-------------------	------

19日(日)午前10時半～

- ・特論

「桃山陶器の文様と造形」	竹内 順一
「十六～十七世紀の東アジア陶磁」	長谷部 楽爾
「桃山陶器にみる華南陶磁の影響」	檜崎 彰一
「桃山陶芸と現代」	林屋 晴三

- ・討論「十六世紀に栄えた日本の陶磁文化」

司会:林屋 晴三

- ・見学

愛知県陶磁資料館

愛知万博記念特別企画展『桃山陶の華麗な世界』

研究会

東日本地区 3 回

4 月 9 日(土) 2:00pm 東京国立博物館資料館セミナー室

三笠景子(慶應義塾大学大学院)「北宋期越州窯青磁の再考察—日本における受容の様相—」

杉谷香代子(筑波大学大学院)「元末・明初の景德鎮窯青花磁器における文様構成について」

10 月 1 日(土) 10:00am 東京国立近代美術館講堂

木田拓也(東京国立近代美術館工芸館)「『日本のアール・ヌーヴォー』と日本の陶芸」

佐藤一信(愛知県陶磁資料館)「産総研に残るアール・ヌーヴォー陶芸作品」

青木 宏(栃木県立美術館)「加守田章二のプリミティヴィズム」

花里麻里(菊池寛実記念智美術館)「現代の陶芸家—藤本能道・藤平伸・15 代樂吉左衛門の場合」

久保田厚子(岡山県立大学)「青白磁世界の私」

田嶋悦子(大阪藝術大学)「自作について」

2006 年

2 月 11 日(土) 2:00pm 東京国立博物館資料館セミナー室

金原さやこ(東京国立博物館)「元青花の文様について—波濤文を中心に—」

森下愛子(学習院大学)「仁阿弥道人研究—後期京焼陶工のネットワークから見る造形表現—」

西日本地区 3 回

10 月 9 日(日) 2:00pm 京都文化博物館

堀内明博(古代学研究所)「唐末・五代の輸入陶磁器—畿内を中心に—」

寺前直人(大阪大学埋蔵文化財調査室)「丹波篠・大谷 3 号窯の発掘—平安時代の須恵器・緑釉陶器併焼窯の調査成果—(仮)」

木村理恵(大阪大学研究生)・高橋照彦(大阪大学)「平安時代における須恵器生産の展開—陶邑・篠・播磨—(仮)」

11 月 5 日(土) 11:00am 兵庫陶芸美術館

開館記念展「やきもののふるさと 丹波—名品でたどる 800 年のあゆみ—」

長谷川 眞(兵庫陶芸美術館)「近世丹波焼の成立とその後」

大槻 伸(福知山市教育委員会)講演会「中世から近世へ—山柵壺の時代—」

2006 年

2 月 18 日(日) 2:00pm 大阪市立東洋陶磁美術館

井上喜久男(愛知県陶磁資料館)「瀬戸・美濃窯における形象陶器生産」

学会誌

第 35 号:平成 18 年 3 月発行「近・現代の陶磁」(第 32 回大会発表を中心に)

会報

第 56 号:平成 17 年 8 月 発行(考古編)

第 57 号:平成 17 年 11 月 発行(総会記念講演編)

第 58 号:平成 18 年 3 月 発行(大会記念講演編)

常任委員会

第 1 回:平成 17 年 4 月 25 日 於出光美術館

第 2 回:平成 17 年 5 月 14 日 於根津美術館

第 3 回:平成 17 年 6 月 18 日 於愛知県陶磁資料館

第 4 回:平成 18 年 2 月 22 日 於出光美術館

編集委員会

会員拡充

その他

学会誌バックナンバー・『東洋陶磁史—その研究の現在—』配布